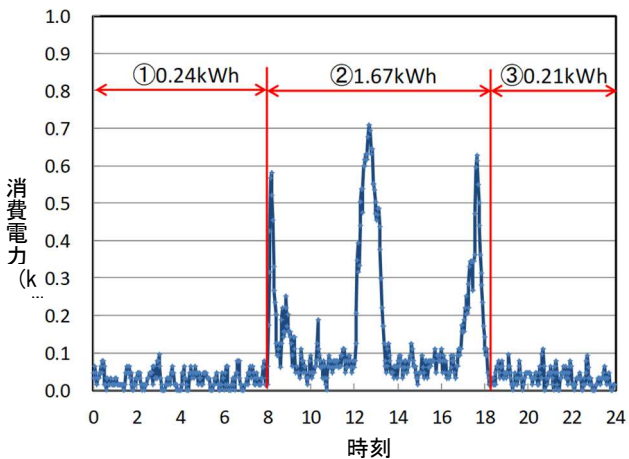


5 給湯器

番号	対策の名称
①	給湯器の運転方法管理
内容	電気式給湯器の節電のため、運転時間や設定温度をルール化し管理します。年間を通じて一定の給湯設定温度で運転されている場合がありますので、不用な時間帯の運転を停止させます。 下図の例では、始業時、昼休み、終業時に消費電力が多くなっています。これらの需要時間帯以外は、主として保温のために電力が消費されていると考えられますので、給湯器のタイマー機能を利用して、夜間や土日の運転を停止します。 この時には、利用開始時に十分な温度での給湯ができるように、予熱時間を設定することで、効率的に給湯することができます。 ＜給湯器の電力消費状況の例＞ 
効果	＜タイマー機能を利用した場合のシミュレーション(下記条件に基づいた場合の試算例)＞ 給湯器のタイマー機能を利用し、土日・夜間の電源を切る。 ・燃料費削減効果 年間 4,080 円 ・CO2 排出削減効果 年間 102kg-CO2 (試算条件) ・温水給湯器 20 台のタイマー機能を利用し、土日・夜間は電源を OFF にする。 夜間停止による省電力量は、測定値から 0.45kWh/日、夜間停止日数は年間 240 日とする。 休日・土日停止による省電力量は測定値から 0.77kWh/日、休日・土日停止日数は年間 125 日とする →夜間停止による効果 0.45kWh/日×240 日/年＝108kWh/年 休日・土日停止による効果 0.77kWh/日×125 日/年＝96kWh/年、合計した効果は 204kWh/年 ・燃料費削減効果：エネルギー単価を電力 20 円/kWh として 204×20＝4,080 円/年 ・CO2 排出削減効果：CO2 排出係数を電力 0.5kg-CO2/kWh として 204×0.5＝102kg-CO2/年
ポイント	・電気式給湯器は流し台や洗面台下部の収納スペースに設置されることが多く、普段目につかない場所にあります。給湯器の設定状況を確認しましょう。 ・季節ごとに設定を変更すると、より効果的です。